

第2回情報化推進懇談会 事前質問票

項番	資料	資料のページ	アクションプランの番号	回答室課	質問内容	回答
1	資料2	6	その他全般など	情報政策室	(資料2、6ページ)デジタル庁が例年出す重点計画は本計画書(例えばR3.12.24のデジタル社会に向けた重点計画)では述べないのか?	<p>本市計画については、デジタル庁が示す重点計画の理念や方向性をすでに含んでいるものとなっていると考えています。理由としては、本市第4期情報化推進計画は策定時において、「官民データ活用推進基本法」、「官民データ活用推進計画」、「デジタル・ガバメント実行計画」等の国が示している方向性を、十分に考慮に入れて策定したのとなっており、デジタル庁が示す「デジタル社会の実現に向けた重点計画」は、上記の計画群を引継ぐ形で策定されているという認識であるからです。</p> <p>また、さらに「デジタル社会の実現に向けた重点計画」の中に示されているキーワードとなる事項については、今回の見直し素案に中に取り込んでいます。具体例としては、「誰一人取り残されない」「安全・安心」「業務改革」「行政手続のオンライン化」「オープンデータ原則」「デジタルファースト」「ガバメントクラウド」等がキーワードとなる事項に当たり、基本理念や各アクションプランに反映して(述べて)、今回の本市計画の素案として作成しています。</p> <p>ただし、ご指摘のとおり、「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」後に示された「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が、明示的に会議資料(未定稿版)の中に記載されていないため【資料2_P6】の修正を行います。</p> <p>素案にさらに加えるべきキーワード等があれば、懇談会の中でご議論いただきますようお願いいたします。</p>
2	資料4		【見直し】①手続の電子化	情報政策室	令和5年で達成率100%は本当に可能ですか?	<p>「①手続の電子化」については、令和4年度で45%、令和5年度で100%の目標値を設定しています。第1回の懇談会でもご説明差し上げましたとおり、令和3年度に「吹田市が自治体DXで目指す姿」について、全庁的な方向性を確認し、令和5年度までに原則、全ての手続(申請・予約等)を電子化することを目標として設定しました。</p> <p>「①手続の電子」は、本市DXにおける最重要課題の1つと捉えていることから、高い目標値設定し、達成に向け全庁一丸となって取組を進めて行く所存です。</p>
3	資料4		【見直し】②コンビニエンスストア等での証明交付の拡充	情報政策室	コンビニエンスストア等の「等」とは、コンビニエンスストア以外にどのような場所、施設を予定されてますか?具体的に明示してください。	<p>「コンビニエンスストア等」とは、以下のものを指しています。</p> <p>全国のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、イオンリテール、平和堂、光洋、ココカラファイン (マルチコピー機を設置している店舗のみご利用いただけます。)</p> <p>吹田市HPより抜粋</p>

第2回情報化推進懇談会 事前質問票

項番	資料	資料のページ	アクションプランの番号	回答室課	質問内容	回答
4	資料4		【見直し】④Web施設予約システムの導入	情報政策室	これまで%表示であったものが、施設数に変わっているのに違和感があります。	<p>「④Web施設予約システムの導入」については、これまで、施設の稼働率を指標としてきました。しかしながら、稼働率は、特にこのコロナ禍においては、Web施設予約システム以外による要素（施設自体の時短・休業等）によるところが大きく、本計画としての達成度を測るのにはなじまないため、より直接的に分かりやすい指標を設定しました。</p> <p>また、市民目線で考えた場合でも、Web施設予約ができる施設が増えることが、市民の利便性向上に繋がると考え、施設数を増加させることを指標として再設定しています。</p>
5	資料4		【見直し】④Web施設予約システムの導入	情報政策室	予約や手続きでのweb活用するならマイページで管理しないのですか	<p>仮に「マイページ」を「施設予約等含む本市の各種申請手続きをポータル上で行うことができ、ユーザ（市民）が行った登録、申請情報等を閲覧することが可能な、本市が運営するオンラインサービス」と定義させていただきます。</p> <p>本市においては現在のところそのようなサービス導入の予定はありませんが、昨今、自治体のCRM（Customer Relationship Management：顧客関係管理）導入事例も出てきていると聞いていますので、今後そのような自治体の事例等を参考にしながら、検討をさせていただきたいと考えています。</p>
6	資料4		【見直し】⑤ホームページ等における情報発信の充実	広報課	日本語以外を母国語とする方等の「等」は具体手時に何語の用意をされるつもりですか。また、例えば、googleが無償提供するAI翻訳機能を利用、活用しないのですか。	<p>Google翻訳を利用した翻訳機能は、既に提供を行っており、令和4年度のホームページリニューアル後も引き続き提供する予定です。</p> <p>ホームページから誘導する言語は、英語・韓国語・中国語（繁体字・簡体字）の4種類ですが、ユーザー自身の操作でGoogle翻訳が提供する100以上の言語へ翻訳することができます。</p>
7	資料4		【見直し】⑥オープンデータの推進と地図情報の活用	情報政策室	オープンデータの閲覧者数は吹田市の努力目標ではなく市民の意識です。従って以前の目標値でよいと思うのです。しかし内容について議論すべきだと思います。	<p>オープンデータについては、当初の目標値を既に大幅に上回って達成していることから、見直しが必要であると考えました。また、今後は委員のご指摘のとおり、オープンデータの数だけでなく、「オープンデータの内容」についても、検討していくべきであると考えています。これらを踏まえ、内容の充実（使用しやすいデータにする等）を図り、また、オープンデータの存在の認知度向上を目指すものとし、その結果の一次的指標として、閲覧者数を指標として再設定しました。</p>
8	資料3		【見直し】⑩図書館資料の電子化	中央図書館	評価指標に電子書籍回転数が含まれたことは利用者ニーズを数値化する点で評価したい。目的に「図書館利用者が時間や場所にとらわれずサービスを利用できる」と概要の「図書館内にタブレットを用意する」は相反することのように思うが市の考えを伺いたい。	<p>電子書籍の貸し出しを行う電子図書館サービスは、インターネットを利用して利用者の所持するデバイスでの使用が可能であり、図書館外での利用や開館時間外での利用が可能となっています。</p> <p>また、図書館内にタブレットを設置することで、インターネット利用が可能なデバイスを持たない利用者にも電子図書館サービスを利用することが可能となります。</p>

第2回情報化推進懇談会 事前質問票

項番	資料	資料のページ	アクションプランの番号	回答室課	質問内容	回答
9	資料3		【見直し】⑩図書館資料の電子化	中央図書館	音楽データベースの導入に関する記述の変更については、音楽配信のにかかる社会情勢の変化とのことで理解できるが、同時に電子資料の使い方講座について削除された。資料の利用促進としてこれから更に使い方講座の必要性を感じるが、市の考えを伺いたい。	電子資料の使い方講座については、資料の利用促進を図るため、令和4年度以降、実施に向けて取組んでいく予定です。
10	資料4		【見直し】⑫小中学校のICT環境の充実	教育センター	今年からITの次世代であるVRの時代へ突入しています。子どもたちの学びにOculus Quest2を用意してあげないのですか。	学校教育のICTを利用した学習では、VRを使用することについて一定の効果があることは認識しています。しかし、現段階ではVRを使用した学習において、こういった場面で使用することでどの程度の効果が見込まれるのかについてを研究する必要があります。今後は、国や他市の動向を注視し、導入について研究したいと考えています。
11	資料4		【見直し】⑫小中学校のICT環境の充実	教育センター	はっきり言いまして、プロジェクターは時代遅れです。他の案を検討されないのですか？生徒ひとりひとりが画面上で情報共有できるクラウドアプリを利用しないのですか。	当市では、GIGAスクール構想としまして1人1台の端末を使用した授業を実施しています。プロジェクタについては、教員が黒板の板書の横に教材提示ができ、また児童・生徒が1人1台の端末を使用する授業においても、操作画面を表示する等で使用することができるため、有効な教材提示装置であるため今後も活用が見込まれます。 児童・生徒が一人ずつ画面共有ができるアプリケーションとしまして、当市ではベネッセ社のミライシードを導入しており、有効に活用している状況です。
12	資料3		【見直し】⑬施設のICT環境の充実	情報政策室	成果目標・内容に「避難所施設に対して、発災時における、各避難者の情報収集ツールとして活用するため公衆無線LAN（Wi-Fi）を整備します。」とあるが、対象となる避難所のうち学校・園についてはどのようにお考えか。また、避難所に必要な公衆無線LAN（Wi-Fi）とはどのようなものとお考えか。	学校・園については、避難場所として想定される体育館にモバイルWi-Fiルーターを設置し、避難所開設時にご利用いただけるよう整備します。また、避難所に必要な公衆無線LAN（Wi-Fi）は、緊急時における情報収集のための一時的な利用を想定し、当該ネットワークに常時接続(一定帯域を常時占有して接続)し、ご利用いただくことは想定していません。
13	資料4		【見直し】⑭会議の効率化	情報政策室	働き方改革は端末数や会議回数ではなく、どのような業務・会議を対象とするかが重要な気がします。	ICTと働き方改革との関係性は、例えば、テレワークやオンライン会議等のICT技術を導入することで、労働者の環境改善を行い、働く手段の選択肢を増やし、または、効率的な業務実施を実現し業務時間を削減することで、多様な働き方を可能とし、ワークライフバランスの充実を図ることにあると考えています。 従いまして、委員ご指摘のとおり、どのような業務・会議を対象としてICT技術を導入するかの検討は、働き方改革の効果に大きく影響することから、非常に重要であり、今後も引き続き、十分に検討していきたいと考えています。 本アクションプランにおいては、本市は、まずはあらゆる業務に汎用性が高いテレワークやオンライン会議の導入を決めたので、これらに対し目標値を設定し推進を図っていくものとしています。

第2回情報化推進懇談会 事前質問票

項番	資料	資料のページ	アクションプランの番号	回答室課	質問内容	回答
14	資料4		【見直し】⑯会議の効率化	情報政策室	VR空間を利用しないでしょうか。例えば、メタバースです。実証実験を兼ねて計画に加えられないものでしょうか。	<p>例えば、VR空間で市役所庁舎を構築し、市民も職員も自宅から参加するといったことが想定できると思います。VR空間については、実用可能になりつつあり、将来的に広がりがある技術であると認識しています。</p> <p>一方、今年度の懇談会においては、第4期情報化推進計画におけるアクションプランの見直しを議題としています。本計画におけるアクションプランは、令和5年度までに設定した目標を達成するための行動計画となります。現時点でVR空間については、具体的な指標をもって計画に加える段階ではなく、先端技術の一つとして、情報収集をおこなう段階であると考えていますので、その旨を「⑳最新技術の活用と調査研究」の概要欄に加えることを検討します。</p>
15	資料4		【見直し】⑰最新技術の活用と調査研究	情報政策室	R5で6060となっていますが、丸めた数字が良いのではないのでしょうか？例えば6000とか。	<p>目標値は、各最新技術導入時に試算した積算値としています。合算した時の端数処理になりますので、再度、検討させていただきます。</p>
16	資料4		【新規追加】㉑情報システムの標準化・共通化	情報政策室	R5で2業務となっていますが、デジタル庁はOK、出しましょうか？	<p>システム標準化、共通化については、政令で定める事務について、令和7年度までに、ガバメントクラウド上に構築された、標準化基準に適合したシステムへ移行することとされています。</p> <p>本市においても法令に基づき、令和7年度までの完了を前提とした方針を策定しているところであり、デジタル庁の想定と相違なく、問題ないと考えています。</p>
17	資料4		その他全般など	情報政策室	全般的に、目標率が%と実数になっているなど、どちらかに統一し、可能な限りそうした方が表記が分かりやすいです。また、一般的には100%達成はまず不可能と思うのですが。	<p>今回の見直しとしましては、市民の利便性にとって、直接的で分かりやすいものを目指すことを目指しました。具体的には、指標が達成されたら「市民が有意義と感じる」ことを直接的に把握しやすい指標を、各アクションプランの性質に応じて再設定したものです。全アクションプランの指標を「割合」もしくは「実数」に統一するという見直しは今回行っておりませんが、より分かりやすい表し方等がございましたら、懇談会の中でご議論いただければと思います。</p> <p>また、100%を目標値にしている指標については、目標達成が必達であると本市が強い思いを持っている事項となります。実現可能性を念頭に置くと、どうしても「できる目標しか設定しない」こととなりがちですが、計画の主旨として「あるべき姿を適切な期間で達成する」ということを念頭に置いた上で、特に重要な取組については「100%」を目指すように見直しを行いました。</p>

第2回情報化推進懇談会 事前質問票

項番	資料	資料のページ	アクションプランの番号	回答室課	質問内容	回答
18	資料2	3	その他全般など	情報政策室	前回の懇談会を経て、基本理念、アクションプランなどの見直しがされていますが、実施体制の強化や実施する職員の専門性の担保、研修などの計画はありますか。	<p>今回のアクションプラン見直しの中では、項番20「情報セキュリティの強化」に置きまして、研修受講率の目標を「100%」としたことは、計画のひとつに当たると考えています。また、「22：情報システムの標準化・共通化」に関して、現在全体計画を策定しており、その中で人材育成に関する視点を盛り込んでいく予定です。</p> <p>アクションプラン以外のところでは、令和2年度より、職員採用に「一般事務（情報コース）」という区分を設け、専門人材を計画的に確保できるように取り組んでいます。</p>
19	その他		その他全般など	情報政策室	情報化推進計画のハード面の充実や環境整備以外にソフト面での市民アプローチについて教えてください。	<p>市民向けIT関連講座を実施する等の取組を行っています。例えば、市民センターや高齢福祉室、公民館等での各種スマホ教室等がそれに当たり、今年度においては全庁で30回程度開催しています。</p> <p>今回の計画見直しにおいては、そのあたりの考え方を「基本理念」の中に反映させており、計画の全体的な推進において、ハード面の整備に合わせてソフト面の手当てをしていくことも重要であると位置づけています。</p>